

広報 しばた

西住地区伝統のお囃子

西住地区の夏祭りでは、地域の方々によるお囃子が行われてきました。20年ほど前からは、西住小学校の子どもたちもお囃子に参加しています。子どもも大人も練習に励み、大人たちは子どもたちにお囃子の技術を丁寧に指導します。8月3日(土)の夏祭りでは、子どもたちの力強いお囃子が夏の夜に響き渡ることでしょう。

特集1

子どもたちを**危険**から守るために

今年の5月から6月にかけて、子どもが犠牲になる交通事故や無差別殺傷事件が発生し、世間に衝撃を与えました。このような悲惨な事故や事件から子どもたちを守るには、どのようにしたらよいのでしょうか。

柴田町では、行政だけでなく地域の皆さんの力を借りながら、長年にわたり、子どもや女性などの弱者が被害に遭わないよう、普段から安全対策を実施しています。



問 まちづくり政策課 ☎54-2111

子どもの交通事故の特徴

全国、宮城県、柴田町では、それぞれ次のような特徴があります。

○全国

- ・小学生では、歩行中の事故が最も多い。(過去5年全体の約6割)
- ・小学1年生の歩行中死者・重傷者数は6年生の3・6倍。

・小学1年生の事故のピークは5月中・下旬。

- ・小学生の歩行中の事故による死者・重傷者数の約4割は飛び出しが原因。

○宮城県

- ・死傷者が発生した事故では、自動車・バイク同乗中が5割以上。

- ・小学1～3年生では、歩行中の事故が4割以上。
- ・中学生は自転車乗車中の事故が多い。

○柴田町

- ・毎年子どもが関連する交通事故が発生。



第一幼稚園（年中・年長）での交通安全教室

子どもの交通安全対策

町では、子どもが交通事故に遭わないよう、次のようなさまざまな対策や活動を実施しています。

町内での交通事故発生件数

【単位：件】

区分	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
全事故	121	136	179	140	126
子ども	5	10	13	8	6



シートベルト効果体験や自転車シュミレーター体験



- 交通指導隊による活動
 - ・毎朝の通学路内8カ所での街頭指導
 - ・各小学校での交通安全教室への指導派遣
 - ・保護者と園児を対象とした横断歩行訓練
- セーフティサポートカー「みやぎくん」による交通安全学習体験



平成30年度に槻木小学校校区に設置された信号機

- 信号機は、宮城県公安委員会での設置のため、大河原警察署に要望し、過去3年間で町内に3カ所設置されました。



平成29年度に改修した船岡小学校校区の横断防止柵

- 交通安全注意喚起看板・小旗設置

- 通学路や学校周辺の横断防止柵改修

子どもを交通事故から守るために



交通指導隊 高橋由紀子 隊員

子どもたちが事故に巻き込まれるニュースなどを見て、縁石のない歩道など危険な箇所を意識するようになりました。また、通学路に立ち、街頭指導をしているなかで、子どもが急に飛び出すなど、子どもの行動で危険を感じることもあります。

ドライバーにはゆとりを持った運転をお願いしたいですし、子どもたちには、交通指導隊がいなくても、常に左右を確認してから、道路を横断するよう心掛けてほしいと思います。

交通指導隊は、子どもたちを事故から守るという重要な使命がありますので、今後多少しでも力になればと思います。そして、私たちと一緒に活動してくれる方が増え、事故のない安全・安心な町になることを願います。

子どもに対する 防犯対策

柴田町でも、子どもなどに対する声掛け事案やつきまとい事案などが発生し、その都度、メール配信サービスを利用して、お知らせしています。このような事案から大きな犯罪に進展しないよう、町内では各地区の見守り隊や柴田町防犯実動隊による活動が行われています。

また、小学生が登下校の時間に犯罪被害にあった事件が過去に多く発生していることから、小学校の下校時間帯や午後7時以降の夜間帯に防犯実動隊員が防犯パトロールを実施し、子どもたちの安全を守っています。

通学路には、地域とともに子どもたちの安全を守っていくことを目的とした「子ども110番の家」と呼ばれるものがあります。これは、子どもが、犯罪な

どのトラブルに巻き込まれそうになったり、被害にあつたりした場合に避難場所となることであり、警察・学校・家庭などに連絡するところです。さらに自動車整備工場が取り組む「子ども110番のくるま屋さん」というものもあります。

リーダー養成講座を行っています。ハードの面では、防犯灯の整備に取り組んでいます。幹線道路や通学路、その他の生活道路を行政と地域が役割分担しながら、従来の蛍光灯や水銀灯より明るいLEDに切り替える事業や新設する事業に取り組んでいます。

この他にも、危険な箇所を見つけ、犯罪を予防する視点を養うことを目的に

ボランティア団体による活動

船岡駅周辺では、船岡を明るくする会が活動をしています。この団体は、仙台大学の学生とともにパトロールを行っています。各地区で組織された見守り隊は、通学路などで子どもたちの安全を守っています。

昨年12月には、仙台大学生による「仙台大学ながら見守り隊」という新たな取り組みが始まりました。この活動では、学生が日常生活をしながら子どもたちの安全に気を配っています。



仙台大学ながら見守り隊

防犯実動隊による「いかのおすし」防犯教室

毎年、幼稚園や保育所で「いかのおすし」というスローガンにより、子どもたちが犯罪に巻き込まれないよう人形劇などを交えて注意を呼びかけています。

- ・知らない人について **い**かない。
- ・知らない人の車に **の**らない。
- ・こわい人や、いやなことをするに人にあつたら **お**お声をだす。
- ・知らない人に連れて行かれそうになったら **す**ぐ逃げる。
- ・何かあつたら **し**らせる。



毎年開催されている「いかのおすし」防犯教室

地域安全マップ作成リーダー養成講座

行政区長や各地区見守り隊の代表者、防犯実動隊員、各子ども会育成会長などの地域で防犯活動のリーダー的立場を担っている方々を対象に、犯罪機会論※に基づいた、危険な箇所を見つけ、犯罪を予防する視点を養うことを目的に開催しました。

※犯罪の機会を与えないことにより、犯罪を未然に防止しようとする考え方。心理的にも物理的にも「入りやすく」「見えにくい」場所が危険とされています。



平成30年度に行われた養成講座



通学路の緊急合同点検

学校でも授業の中で子どもたちが通い慣れた通学路の中の危険箇所を調べて、それを地図に落とし込み、普段の登下校から危険性を意識付ける取り組みを行っているところもあります。

昨年5月に新潟市で発生した下校中の児童殺害事件を受け、国は登下校時の子どもへの安全確保に関する対策を取りまとめた「登下校防犯プラン」を策定しました。

柴田町でも、このプランの策定を受けて、昨年9月に町内の全小学校区で、行政、学校、警察、地域ボランティアが一同に会し、通学路などにおける安全面を確認する緊急合同点検を実施しました。

積極的なコミュニケーションが犯罪を防ぐ



防犯実動隊 水戸美佐子副隊長

日頃のパトロールでは、見えづらくて、入りやすい場所に気をつけて見回っています。最近は空き家も増えてきていて、危ないと感じています。

また、パトロール中は子どもたちを見かけたら声を掛けるように心掛けています。「気をつけてね」や「遅くならないようにね」などと声を掛けると、子どもたちからも、あいさつしてくれたり、手を振ってくれたりします。子どもだけでなく、大人の方にも声掛けするようにしています。

声掛けして、「コミュニケーションを図ることは、見守りの際、とても大切なことだと感じています。これからも積極的に声を掛け、犯罪防止に努めたいと思います。」

協力し合い 事件・事故の無い町に



大河原警察署 柴田交番 澤田 浩和所長

小学校低学年では飛び出しが原因の事故が多いので、自転車も自動車も運転手は「だるうな運転」を心掛けてください。

また、子どもは、自動車同乗中の事故による負傷が多いので、一般道を走行する際も、後部座席でのシートベルト着用の徹底をお願いします。

柴田町の犯罪件数は、近隣の自治体と比べると、少ない状況です。これは、各地区の見守り隊や仙台大学のなかから見守り隊などのボランティアの方々のおかげです。柴田町ほどボランティアの方々の見守り活動が活発に行われている自治体はなかなかありません。

ボランティアの方々和私たちとの連携がうまく取れていれば問題が大きくなる前に解決できます。

警戒・予防が第一だと考えますので、事件・事故の無いよう、これからも一緒に協力していきましよう。

子どもたちを危険から守るために

町では、学校での交通安全教室の際に交通指導隊員を派遣し、子どもたちに歩行時や自転車乗車時の交通ルールを教えています。最近では、子どもが自転車を運転し、歩行者と事故を起こし、けがを負わせる事案も発生しています。家庭などでも子どもが事故を起こさない、事故に遭わないよう交通安全についての注意を呼び掛けてください。

また、防犯面では、子どもが犯罪に巻き込まれるケースで多いのは、一人で見るときのです。まずは、知らない人についていけないなど「いかのおすし」や自分の身は自分で守らなければならないことを家庭で

指導してください。

子どもを守るためには、地域の目が必要で、町内では、以前から地域全体で子どもたちが安全に安心して過ごせるよう各地区の見守り隊などの活動が展開されてきました。しかし、近年は、これまで活動をしている方が高齢となり、担い手が不足しています。行政だけでは、子どもを守ることはできません。犯罪の発生を抑制するために、防犯カメラを設置してほしいという声もあります。地域は地域、人の目が大事で、地域の安全は地域で守るという意識が大切です。

ぜひ、地域や家庭においてもお子さんと安全対策について、話し合ってください。

自分のベストを目指して

町民スポーツ大会



年号が平成から令和に変わって最初の町民スポーツ大会が開催されました。東京2020オリンピック・パラリンピックを1年後に控え、国内でもスポーツが大いに盛り上がりを見せています。柴田町でもその盛り上がりには負けない熱戦が繰り広げられました。

年齢や性別を超えて、競技に全力で取り組み、選手それぞれが持てる力を存分に発揮する姿は、あらためて私たちにスポーツの素晴らしさを教えてくれます。

ゲートボール、ビニールボール、グラウンドゴルフは8月25日(日)に角田市で行われる「宮城ヘルシー2019ふるさとスポーツ祭」の出場を決める予選会も兼ねています。

※ソフトボール大会は雨天のため中止となりました。

問 スポーツ振興課

☎ 87-8706



第39回町民ゲートボール大会

6月11日(水) 総合運動場 25人 5チーム参加

【優勝】新寿会B

【準優勝】船迫寿会

【第3位】長生会



第16回町民バドミントン大会

6月16日(日) 船岡体育館 32人 16組参加

ダブルス1部

【優勝】	笠松 貴司	菊池 学
【準優勝】	鈴木 清貴	佐藤 達規
【第3位】	氏家 大輔	氏家 静香

ダブルス2部

【優勝】	大坪 ひろみ	阿部 貴弘
【準優勝】	木村 輝夫	野崎 浩亨
【第3位】	小野 こずえ	紺野 香

ダブルス3部

【優勝】	大場 広子	千葉 一清
【準優勝】	近江 のり子	阿部 亜矢子
【第3位】	長谷川 清	及川 孝明





第44回町民ラージボール卓球大会

6月23日(日) 船岡体育館 43人参加

- | | |
|-------------|------------|
| 男子シングルス1部 | 男子シングルス2部 |
| 【優勝】宮澤 則夫 | 【優勝】富樫 睦雄 |
| 【準優勝】高橋 裕一 | 【準優勝】三浦 貞夫 |
| 【第3位】藤田 浩三 | 【第3位】千葉 良治 |
| 阿部 清吉 | 佐藤 正三 |
| 女子シングルス | |
| 【優勝】倉繁 ふみ子 | |
| 【準優勝】山中 直美 | |
| 【第3位】佐藤 佳子 | |
| 桜井 美佐子 | |
| 混合ダブルス | |
| 【優勝】宮澤 則夫 | 日下 光子 |
| 【準優勝】阿部 清吉 | 杉本 二千子 |
| 【第3位】阿部 つい子 | 倉繁 ふみ子 |
| 藤田 浩三 | 熊谷 淑子 |



第57回町民ビニールボール大会

6月30日(日) 船岡体育館 73人 7チーム参加

- 【優勝】チーム西住
 【準優勝】ホープズ
 【第3位】EAST





第22回町民グラウンド・ゴルフ大会

7月9日(火) 総合運動場 139人参加

【優勝】佐々木 光男 (GG中曽根愛好会)

【準優勝】中島 陸郎 (GGクラブふなおか)

【第3位】目黒 浩志 (GGクラブふなおか)



町民スポーツ大会に参加された方に伺いました 「あなたにとってスポーツとは」

卓球は、年を取っても続けられるスポーツだと思います。私自身、目標は、80代くらいまでやり続けることです。勝ち負けも大事ですが、一番は楽しんでやることだと思っています。町民スポーツ大会の意義もそこにあると思います。



倉繁ふみ子さん

ラージボール卓球

私にとって卓球は、健康のために、そして何よりやっていて楽しい素晴らしいスポーツです。本当に長い期間、続けてきました。そのおかげで健康にすることができ、それが家族のためにも良いことだと思っています。現在も毎週、数回ほど練習をしています。家族も理解してくれて、とても気持ち良く続けることができています。

最近では、楽しみながら結果も出せるようになってきました。また、私が始めた10年ほど前から比べると、町内のレベルが上がってきていると感じています。ビニールボールは幅広い年齢層の方が、一緒に運動できる生涯スポーツだと思います。もし興味があれば、気軽に体験しに来てください。



笠 隆司さん
(チーム西住)

ビニールボール

健康管理やストレス発散などもあります。私にとってスポーツは、さまざまな人と交流することができる大切な場所です。ビニールボールの大会を通して町外のチームとの交流も生まれましたし、多くの友人もできました。これはスポーツをやっていなければ無かったと思います。



柴田町長 滝口 茂

サイクルツーリズムが再びブームとなつています。1970年代に一度、手軽で便利な移動手段として自転車ブームとなつたことがあります。

その時は、急激に増えた自転車利用者によって、駅前の駐輪場が放置自転車

溢れ、社会問題にもなりました。その対策として、駅前に自転車ステーションを設け、誰もが自由に利用できる仕組みづくりが行われました。町も試験的に取り組んでみましたが、貸し出された自転車があちらこちらに放置されるトラブルが相次ぎ、長続きしませんでした。

ここに来て再びブームに火がついたのは、健康志向の高まりや環境に負荷をかけない乗り物として、自転車が見直されるようになったからです。2016年に自転車活用推進法が制定され、本格的に自転車を活用したまちづくりを進めることになりました。地方自治体においても、この自転車ブームを地方の活性化に結びつけようと、新たな切り口からさまざまな取り組みが行われるようになっていきます。

一つに、公道を使ってタイムを競うロードレース大会です。蔵王町の「蔵王ヒルクライム」が有名で、蔵王エコーラインや蔵

サイクルツーリズムの推進

王ハイラインを舞台に行われています。二つに、愛車と一緒にサイクルトレインで目的地まで行き、その地域のサイクリングロードを周遊するものです。昨年、「サイクルトレイン牡鹿号」が運行され、新たなサイクルツーリズムの楽しみ方となっています。

三つには、地元の人たちと交流しながら自然や名所やグルメ探訪を楽しむサイクルイベントです。丸森町の「サイクルフェスタ丸森」が大人気です。

柴田町もサイクルツーリズムを一つの切り口として、新たな観光まちづくりに取り組みすることにしました。今回、地方創生拠点整備交付金を活用し、太陽の村に「キッズバイクパーク」として、キッズバイク公認コース、キッズバイク管理棟、古くなった宿泊施設を改修しての室内遊び場「キッズ遊びの棟」の三つを整備します。子どもたちには、混み合った町場を離れて、この広々とした太陽の村で、自分の足でペダルを踏んで、スリル感や爽快感を味わってほしいと願っています。

今後、太陽の村が子どもたちにとつての自転車の中心地となるよう整備を進めるとともに、ここを拠点にサイクルツーリズムがさらに盛り上がることを期待しています。

しばた歴史探訪

第三回 白鳥神社と白鳥事件

柴田郡と刈田郡には、白鳥を神の使いとする信仰が古くからありました。大河原町金ヶ瀬の大高山神社、蔵王町宮の荻田嶺神社、村田町の白鳥神社が、よく知られています。この白鳥神社は、元禄時代（一七世紀末）に柴田氏が、大高山神社を館山に勧請したもので、大鷹社、白鳥社とも呼ばれていました。江戸時代末期に、現在の場所（船岡西）に移ります。明治時代、白鳥神社が船岡村の村社となり、村内の八つの神社が合わせてまつられました。

四月に例大祭、八月には熊野水神宮祭が行われます。また、寛文事件で亡くなった柴田外記朝意をまつる朝意神社も合祀されたことから、旧三月二七日には朝意祭が行われ、草餅をお供えしていたと言われています。境内には朝意の胸像もあります。

さて、今から一五一年前。白鳥信仰が一つの悲劇を生み出します。戊辰戦争で仙台藩は敗北し、亘理に新政府軍（広島藩）が進駐しました。広島藩の兵士は船岡の警備も担っており、阿武隈川を渡って来ました。その折に、白鳥を鉄砲で狩つたというのです。人々はやめるよう懇願しましたが、聞き入れられません。ついに柴田家の家中森玉蔵と小松亀之進は、近くの百姓から借りた鉄砲で、兵士の乗る舟に向かって発砲しました。弾は舟べりに当たっただけでしたが、捕えられ処刑されました。この責任は柴田家の当主である柴田意広にも問われ、意広は切腹させられました。

問 しばたの郷土館 ☎ 55-0707





健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ60

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第60回のテーマは、「嗜好品と上手に付き合おう」です。

嗜好品は人の心を癒し、幸福感をもたらしてくれます。しかし、嗜好品の食べすぎなどで体重増加や生活習慣病につながる可能性があります。嗜好品と上手に付き合う方法を学びましょう。

1. 嗜好品とは

栄養を取るためではなく、その人が好きで食べたり、飲んだりするもので幸福感をもたらしてくれるもの。

2. 嗜好品の気を付けたいところ

つい食べすぎる



体重が増加する



生活習慣病につながる



高血糖、高血圧、
脂質異常、メタボなど

3. 嗜好品の適正量を知ろう

- 1日あたり 100kcal
 - 菓子類であれば、板チョコ 1/4 枚、せんべい 2 枚、まんじゅう 1 個
 - ジュース類であれば、野菜ジュース 200 ml、飲むヨーグルト 100 ml、缶コーヒー（加糖）190 ml、炭酸飲料 200 ml
- 1日あたりアルコール量 20g
 - ビール中ビン 1 本、日本酒 1 合、ワイン 2 杯

4. 嗜好品と上手に付き合おう

①まとめ買いはしない

まとめ買いはたくさん食べてしまう原因になります。必要な分だけ買いましょう。

②種類を変える

高カロリーなものから低カロリーなもの（ケーキからゼリーなど）に変更しましょう。

③適度にストレス解消

嗜好品はストレスを解消してくれますが、ストレスをためこむと過食を招きます。適度にストレスを解消しましょう。

保健師からの ワンポイント アドバイス

ビールのおいしい暑い季節がやってきました。ただし、飲みすぎには注意してください。適正量を守り、楽しく飲みましょう。
アルコールを飲むと水分の排泄が促進されるので、アルコール以外の水分補給もお忘れなく。

広 告

広 告

まちかど NEWS



3,800株の紫陽花が咲き誇り、園内を彩りました。



今年は県の観光キャンペーンの一環でサザエさんも来てくれました。

第6回しばた紫陽花まつり NEWS

6月21日(金)から7月7日(日)まで、船岡城址公園を会場に「しばた紫陽花まつり」が行われました。

期間中は、約1万3,000人が訪れ、初夏を感じさせてくれる色とりどりの紫陽花をゆっくりと観賞していました。

三品穂乃果さん(船岡東)は、「母と祖母と3人で来ました。紫陽花が好きなので来てみたいと思っていました。山頂付近やアジサイ谷にたくさん咲いていて驚きました。すごくきれいです」と話してくれました。

健康タウンしばたプロジェクト+2019開講 NEWS

7月14日(日)、町と仙台大学が連携し、あまり運動をしていない方などに、楽しく気軽にできる運動やスポーツを提案する、健康タウンしばたプロジェクト+2019の開講式が行われました。

参加者は、開講式の後、早速運動に励んでいました。

荒井りつ子さん(ゆずが丘)は、「普段トレーニングをしていますが、自己流なので、正しい方法を学びたいです。大学の設備にも興味があります。そして、いろいろな方と交流できればと思います」と話してくれました。



大学の施設が開放され、筋力トレーニングなどができます。

広 告

広 告

願いごとがかないますように

7月5日(金)、槻木保育所で、3歳児から5歳児が参加し、七夕会が行われました。

短冊に書いたお願いごとを発表したり、七夕のお話を聞いたり、すごろくをしたり、歌を歌ったりと盛りだくさんの内容で、子どもたちの笑顔がいつぱいの七夕会となりました。

山田莉里杏ちゃん(5歳)は、「すごろくが楽しかったです。私は、大きくなったらおうちにいっぱい花を咲かせたいですとお願いました」と話してくれました。



一生懸命に作った短冊を持ち、元気に願いごとを発表していました。

古くから伝わる民俗芸能を鑑賞



太鼓を打つ体験も行われました。

7月3日(水)、東船岡小学校で、芸術鑑賞会が行われ、民族歌舞団「ほうねん座」(仙台市)による、お囃子や歌、踊りなどの民俗芸能が披露されました。

児童たちは、体育館に響き渡る力強い太鼓の演奏や躍動感ある踊りなどを熱心に鑑賞し、民俗芸能の成り立ちなども学んでいました。

児童を代表して、高野彩織さん(6年)が、「演奏は、迫力があって素晴らしく、見ていて楽しかったです」と感想を述べていました。

心が元気になる出前講座

7月14日(日)、船迫集会所で、健康推進課の出前講座「快眠とストレス解消」が行われ、心が元気になる話が行われました。

参加した「老人クラブ延寿会」の皆さんは、自分のストレッチエクササイズや、呼吸によるリラクゼーション法を体験し、心を元気に保つポイントを学んでいました。

会長の吉田百子さんは、「教えてもらったストレス解消法を実践して、参加された皆さんの心と体が、もっと元気になっていただければと思います」と話してくれました。



皆さんで「笑ヨガ」によるストレス解消法を体験しました。

告 告

告 告



こうほう 文芸

俳句

糸蜻蛉納涼もとめて蓮の葉に 梶木 平間 三郎
 梅雨寒や上衣一枚重ねたり 船岡 可沼 妙子
 すかしゆり岩に抱かれ種差海岸 西船迫 安ヶ平奈津枝
 雨上がる洗い髪人レジ並ぶ 船岡 安藤 節子
 なす花の紫ほのか霧ゆれる 西船迫 深見 半翁
 白南風や瀬音高まる並木径 中野西範子
 紫陽花に雨粒かさね母の忌来 石垣テル子
 晩鐘は雨音となり沙羅の花 制野 千秋

墓標めくビル街煙りゆく驟雨 遊佐 徹
 白南風や与那国めざす丸木舟 山家美智子
 遠き日のははと眺めし菖蒲かな 三塚 直樹
 夕暮れの風に迷ひし梅雨の蝶 及川美沙子
 病む人を見守る日暮紫蘇を揉む 若月ノリ子
 寂しさに慣れていたはず青田風 大久保和子
 夕闇を魂魄かよふ月見草 浪山 克彦

川柳

夕食は花にかこまれたのしいな 船岡 臥竜の妻
 背比べ孫に越されて悔しけり 西船迫 H・G
 父さんと毎日見ていた心旅 船岡 阿部美代子
 図書整理固定の人が読みあさる 西船迫 安ヶ平良三

春炬燵手持無沙汰の足が有り 梶木 加藤 マサ
 空を見て今日の運勢よむ朝茶 船岡 小林 夢子
 狙い撃ち次々来たる雨の帯 西船迫 舟廻めぐる

短歌

なかなかスマホログイン手こずりて 算数教えた孫に教わる 船岡 可沼 妙子
 さあ選挙これでいいのか日本は 絶えぬ災害事故や殺人 西船迫 三澤 精一
 酔っぱらいねじりはちまき「追分」を 歌った友は遠くへ行った 四日市場 鳥井崎七十老
 退職日花束もらい帰途中に 無謀な車にもらい事故 西船迫 下浦 智子

老い深み向かいて座る級友と 昔語りて緩りと流る 船岡 伊藤タイ子
 朝顔にこまやかな感そなわりて 支えの竹に自ら寄りそう 船岡 沢田 順子
 負けないと足蹴り自転車で公園へ ライバルどこだと走り屋の孫 本船迫 森田 眞六

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで8月9日(金)までご応募ください。 圃 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告

我が校の
の
誇り



船迫小学校

船迫小学校は、地域の皆さまをはじめ、たくさんの方々に支えられて教育活動を推進しています。今回はその中でも大切な「3つの結びつき」を紹介します。

1 学年の違う友達との結びつき 伝統行事「アタック5」

「アタック5」は、1年生から6年生までの全校児童を24のグループに分け、6年生がリーダーとなって「太陽の村」まで歩く、船迫小学校の伝統行事です。コースの途中にはいくつかのチェックポイント(学校に関連した問題)があり、協力しながら問題を解いてゴールを目指します。当日まで、6年生は自分のグループのいろいろな学年の仲間がどうしたら仲良くなれるか、特に1年生が楽しく活動するにはどうしたらよいか、一生懸命に考え、準備をします。他の学年の友達も6年生の頑張りに応え、協力します。「アタック5」は、学年の違う友達との結びつきを強め、リーダーシップや思いやりの心を育む大切な活動です。



2 中学生との結びつき 小中連携合同英語学習



町が取り組んでいる「SAKURA PROJECT(桜などの柴田町の誇りについて、英語で情報発信できる力を身に付ける取り組み)」を推進するため、船迫中学校と連携して6年生と中学2年生の「合同英語学習」を毎年行っています。昨年度は、本校の6年生が船迫中学校に行き、合同で「将来の夢を英語で発表しよう」の授業を受けました。6年生は初めての中学校の教室での授業、そして中学生と隣り合っの授業のため、授業開始のときにはかなり緊張していましたが、中学生の優しいリードにより、いつもとは少し違う英語の授業の雰囲気を楽しむことができました。

この他にも、中学3年生が本校で合唱を披露してくれたり、児童会・生徒会合同であいさつ運動を行ったりするなど、小中連携の取り組みをこれまでも行ってきました。今後もこうした取り組みをさらに充実させながら、子どもたちを育てていきたいと考えます。

3 高校生との結びつき 「かっぱ教室」での水泳練習会

本校では、毎年夏休みに水泳の練習会「かっぱ教室」を行っています。この活動に、学区内にある柴田高等学校の水球部の皆さんに、先生役として参加していただいています。

高校生には2009年度から来ていただいております。10年以上も続く伝統的な活動になりました。泳ぐ前の準備運動から丁寧に教えていただいております。泳ぎ方の練習では、それぞれの子どもたちの力に合わせ、息継ぎやバタ足などの練習を個人指導していただきます。また、休憩のときには、学校生活や遊びのことなど、高校生といろいろな話をすることができ、小学生の子どもたちにとって高校生は憧れの存在となっています。



〔船迫小学校長 杉山 義隆〕



柴田町
フェイスブック

<https://www.facebook.com/town.shibata>

町の景色やイベントなどを紹介!

まちづくり政策課 TEL54-2111



広 告

お客様第一のサービスを 心掛けています

渡辺 清掃

渡邊 修さん (36歳)

今回は、一般家庭のごみ収集・運搬受託業者であり、し尿汲み取り、浄化槽の管理・清掃などを行っている渡辺清掃の渡邊修さんをご紹介します。



「この職種は誰もが好んで行う仕事ではありません。私は気にならないので、自分に合っているのかもしれないが、入社してから現在までずっと私が一番若い社員です。今は自分がしっかりとやっていけば、みんな付いてきてくれると信じて仕事をしています」そう話す渡邊さんは、祖父が始めた事業を父親と共に引き継ぎました。以前は別な仕事をしながら、家業を手伝っていました。が、浄化槽管理士の資格を取ったことをきっかけに、13年ほど前から社員として働いてきました。

「個人事業で従業員の数も限られているため、主に担当している浄化槽の管理のほか、家庭ごみの収集を行うこともあります」と話し、仕事を行う上で大切にしていることを伺うと「浄化槽の点検を行う際には、それ以外の排水設備に異常が無いかのチェックも一緒に行うようにしています。大きな仕事が必要になる前に異常を発見できれば、お客様にとっても負担が少なくて済みます。プラスチックのサービスを心掛けています」と教えてくれました。何よりお客様あつてのことと話す渡邊さんは「お客様にとって一番何が良いのか考えたときに、依頼された点検で異常があつた際に、他社に協力を求めることが一番良い仕上がりになるのであれば、迷わず協力を依頼します」と話してくれました。



浄化槽の点検を行う渡邊さん。



渡辺 清掃

柴田町大字四日市場字日当山33-8
TEL 56-1755

昭和40年創業。一般廃棄物の収集運搬および浄化槽の清掃管理や、し尿の汲み取りなどを手掛ける。従業員4人。

人口と世帯数
(令和元年7月1日現在)



37,769人
(前月比42人減)



18,870人
(前月比15人減)



18,899人
(前月比27人減)



15,882世帯
(前月比1世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。